



第16-49号

2016年10月27日

～ 安全に対する取り組み強化 ～  
**小田急線6駅にホームドアを設置します**

小田急電鉄株式会社（本社：東京都新宿区 社長：山木 利満）は、小田急線代々木八幡駅<sup>\*1</sup>から梅ヶ丘駅の6駅において、2020年度までの使用開始を目標にホームドアを設置します。

当社では、これまでに内方線付き点状ブロック<sup>\*2</sup>や列車非常停止ボタンの設置、ホーム端部をわかりやすくするためにホーム先端部をオレンジ色に塗装する等の対策を推進してきており、新宿駅急行ホーム（4・5番ホーム）には、ホームドアを設置しております。

新宿駅でのホームドア設置以降、他駅への導入に向けた検討を進めてまいりましたが、今般、当該6駅14ホームにホームドアを設置できる見込みとなりました。

また、ホームと車両の間隔の大きい代々木八幡駅では、ホームドアの使用開始にあわせて、可動ステップ<sup>\*3</sup>を導入し、さらなる安全性の向上を図ってまいります。

■ 使用開始目標年度および設置駅（予定）

- 2018年度 代々木八幡駅、下北沢駅（地下2階ホーム）
- 2019年度 代々木上原駅（1番線、4番線）、東北沢駅、世田谷代田駅、梅ヶ丘駅
- 2020年度 下北沢駅（地下3階ホーム）



&lt;参考：ホームドア（新宿駅）&gt;

※1 代々木八幡駅

現在実施中の駅改良工事に併せて、ホームドア整備を進めてまいります。

※2 内方線付き点状ブロック

従来の点状の突起に加え、ホーム内側部分に線状の突起を設け、目の不自由な方に対してホームの内側が分かるようにしたものです。

※3 可動ステップ

ホームと車両の間隔が広い箇所において、乗降時の踏み外しや転落を防止するため、列車到着時に床面からステップが張り出し、隙間を少なくする設備です。